

環境経営レポート

◇46期版◇

[対象期間2022年10月～2023年9月]



2023年10月26日作成

日商産業株式会社

目次

1、環境経営方針	2
2、会社概要	3
3、環境経営目標とその実績	6
4、主要な環境経営計画の内容及び取組結果の評価	7
5、環境関連法規への違反・訴訟等の有無	8
6、代表者の全体評価	9



環境経営方針

基本理念

当社は、人類の将来にとって環境との共生と調和を共通課題と認識し、樹脂加工部品や組立製造の事業活動を通じ、医療関連機器製品などの開発や新たな技術の取得・導入を図るに当たり、環境保全と限りある資源の有効利用を実践します。全社員一丸となり、資源リサイクル、省エネルギー活動を展開し、環境の保護向上活動を確実に実行します。事業活動に適用される、環境関連法規・条例を遵守します。

行動指針

(二酸化炭素排出量削減)

- 1、樹脂製品製造を通じて、製造工程での省エネに取り組み、二酸化炭素の排出量を削減します。
- 2、照明や冷暖房温度の管理により省エネに取り組みます。
- 3、営業活動に、エコドライブを実践して、排ガス抑制、省エネに取り組みます。

(廃棄物排出量削減)

- 4、廃棄物の分別により、リサイクル用の資源回収を徹底し、産業廃棄物の削減に取り組みます。
- 5、加工技術・加工工程の見直しにより、材料の取り数の向上を図り、無駄な材料使いを排除し、廃棄物の削減に努力いたします。

(水使用量の削減)

- 6、全社員一丸となって、水の使用量削減、省資源に取り組みます。

(グリーン購入の推進)

- 7、エコ商品の導入

(製品環境配慮)

- 8、製品に対する環境配慮活動を推進します。
- 9、人にやさしく、地球にやさしい、医療関連機器の開発を目指します。

全社員が未来の「健康」「楽しさ」「快適さ」を願い、エコアクション21ガイドラインに従い、地球環境に配慮した活動を積極的に行い、活動結果を公開いたします。

制定 2009年 9月 8日
改定 2011年10月18日
改定 2011年10月25日
改定 2019年10月25日
改定 2021年 9月22日

日商産業株式会社

代表取締役 小島 隆行

2、会社概要

2-1 社名及び代表者氏名

日商産業株式会社

代表取締役 小島 隆行

2-2 事業所及び認証・登録範囲

本社

〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町東野50-10 長泉工業団地内
熊本事業所

〒860-1113 熊本県熊本市中央区八王子45-18

認証・登録範囲 : 全社の組織及び全活動

2-3 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 製造部長 網野 信

連絡先 Tel 055-987-7700

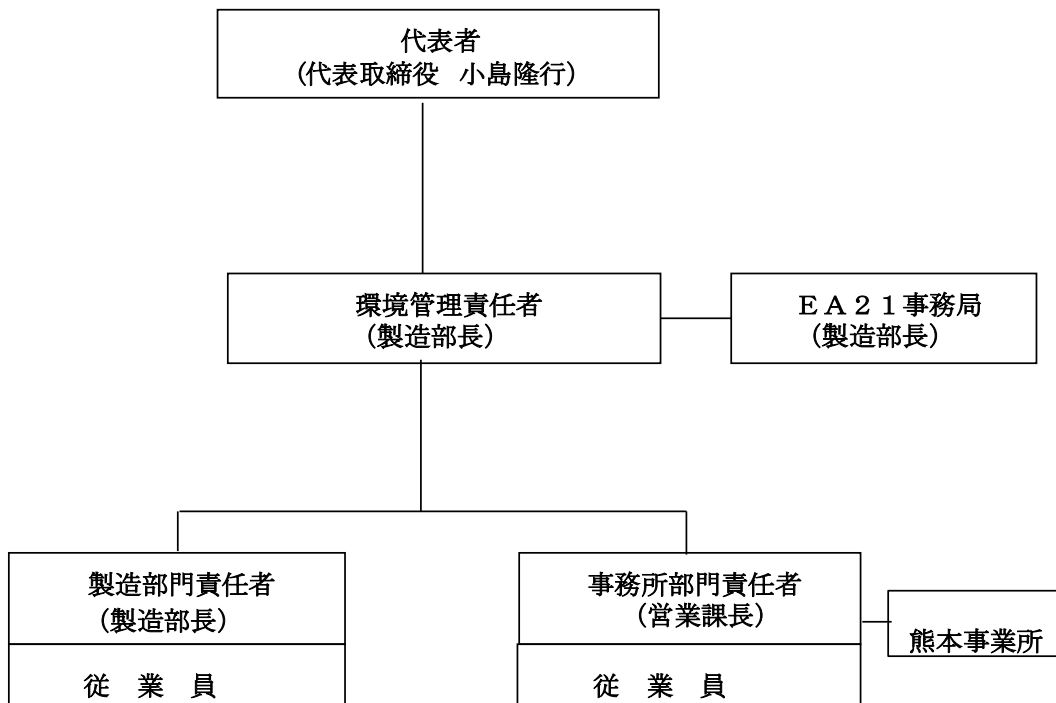
Fax 055-987-7704

E-mail ps.g2@nisshosangyo.co.jp

2-4 事業活動の概要

樹脂部品の加工及び組立製造

2-5 実施体制表



2-6 事業の規模

① 売上高

46期 1,198 (百万円)

② 従業員数

社員 48名 パート 4名 合計44名
(うち熊本事業所 社員1名・パート1名)

③ 事業所の敷地・建物面積

敷地面積 3,167 m²
建物面積 2,461 m²

2-7 設備等の状況

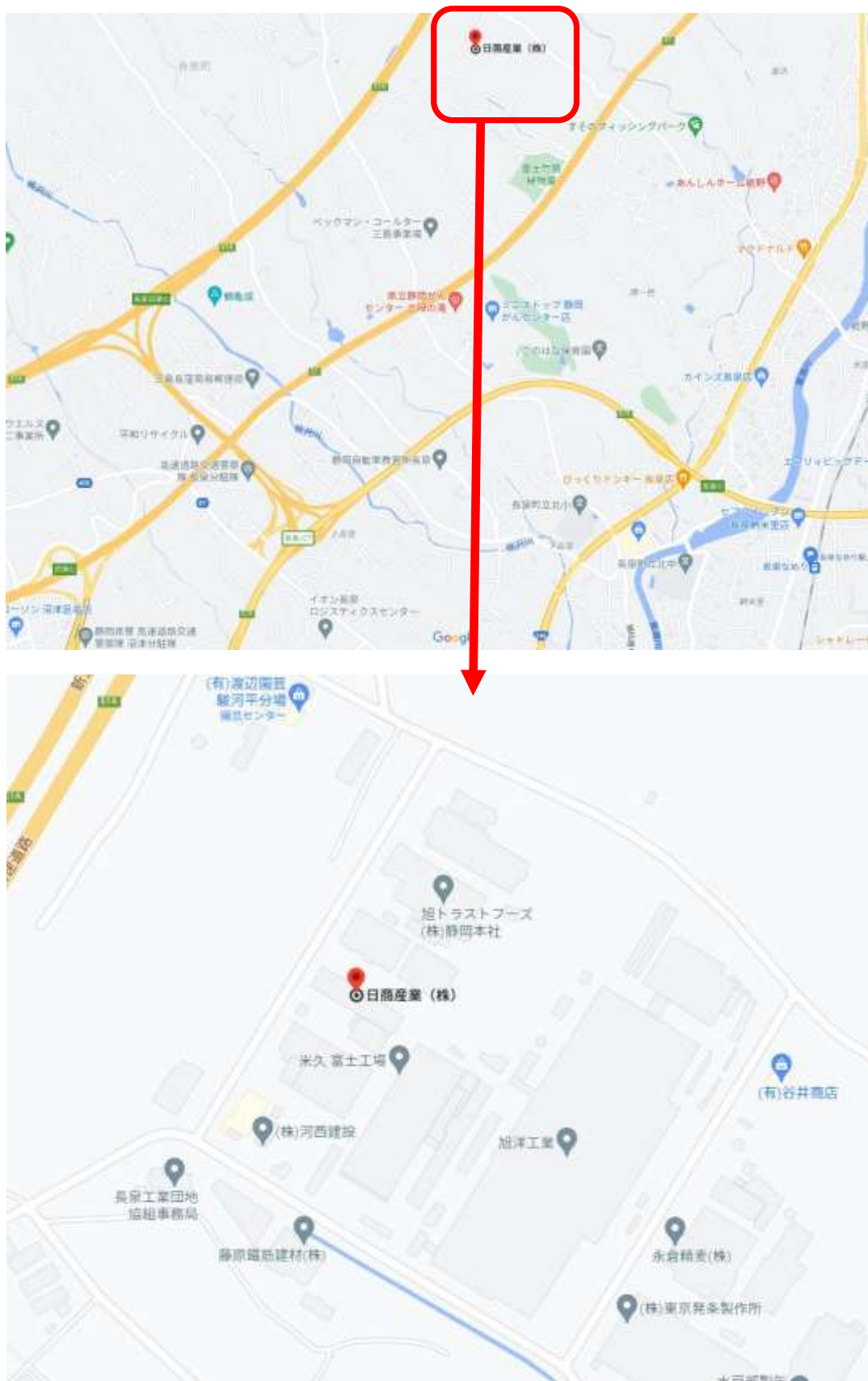
① 保有車両

名称	使用燃料	台数
ハイエース	軽油	11
ダイナトラック	ガソリン	1
カローラ	ガソリン	1

② 主な機械設備

設備名	メーカー名	型式	数量
マシニングセンター	不二精機製造所	FMC-13/25VP-L	1
マシニングセンター	マザック	VTC-20C	1
マシニングセンター	ファナック	α-14TiAL	1
マシニングセンター	ファナック	α-T21If	1
ターニングセンター	森精機	NT1000S	1
ターニングセンター	オークマ	LB-i5M II	1
ターニングセンター	ミヤノ	LE-22	1
5軸加工機	庄田鉄工	NC516U-3121X-Z5	1
NCルーター	庄田鉄工	NC-3	1
NCルーター	庄田鉄工	NC2001	1
NCルーター	庄田鉄工	NC293-4626X	1
NCルーター	庄田鉄工	NC293F-2017X	1
CNC旋盤	ツガミ	M06J-II	1
マシニングセンター	ブラザー	W1000Xd1	1
コンプレッサー	日立	OSP-15VAR III	1
コンプレッサー	北越工業	SMS22ESD-5E	1
コンプレッサー	北越工業	SMS22EVD-E	1
パネルソー	シンクス	HP-3	1
パネルソー	シンクス	SINUC3000	1
超音波ウェルダ	島田理化	USM-61A	1
キュービクル	日立		2
測定顕微鏡	オリンパス	STM5-LM322	1
3Dプリンタ	キーエンス	AGILISTA-3100	1

○印設備は騒音規制法・振動規制法に従い町に設備登録を行っております
2-8 当社案内図



3、環境経営目標とその実績

環境経営 目標	取組項目	基準値 2009年10月 ～2010年9月		45期	46期	47期	48期	
				2021年10月 ～2022年9月	2022年10月 ～2023年9月	2023年10月 ～2024年9月	2024年10月 ～2025年9月	
二酸化炭素 排出量の 削減	電力使用量効 率の向上 kwh/全社売上 (百万円)	33期実績 408 kWh/百万円	目標	基準値の 32%向上 277 kWh/百万円	基準値の 33%向上 273 KWh/百万円	基準値の 34%向上 269 KWh/百万円	基準値の 35%向上 265 KWh/百万円	
			実績	221 kWh/百万円	208 kWh/百万円	kWh/百万円	kWh/百万円	
			達成	○	○			
	化石燃料使用 効率の向上 km/L	33期実績 11.40 km/L	目標	基準値の 5.0%向上 11.97 km/L	基準値の 5.5%向上 12.03 km/L	基準値の 6.0%向上 12.09 km/L	基準値の 6.5%向上 12.15 km/L	
			実績	11.30 km/L	11.13 km/L	km/L	km/L	
			達成	×	×			
	二酸化炭素の 排出量の削減 (電力排出係数 kg-CO2/kwh) 本社：0.376 熊本事業所 ：0.407	33期実績 219 kg-CO2/売上高	目標	基準値の 4.5%向上 209kg-CO2 /売上高	基準値の 5.0%向上 208kg-CO2 /売上高	基準値の 5.5%向上 207kg-CO2 /売上高	基準値の 6.0%向上 206kg-CO2 /売上高	
			実績	139 kg-CO2 /売上高	114 kg-CO2 /売上高			
			達成	○	○			
	CO2 排出量		Kg-CO2		168,891	136,500		
	廃棄物 排出量 の削減	廃棄物の リサイクル 推進及び最 終廃棄物の 削減 ＜リサイクル量 ／総排出量＞	40期実績 リサイクル率 13.68%	目標	基準値の 0.5%向上 14.18%	基準値の 0.6%向上 14.28%	基準値の 0.7%向上 14.38%	基準値の 0.8%向上 14.48%
				実績	40.3%	32.4%		
達成				○	○			

環境経営 目標	取組項目	基準値 2009年10月 ～2010年9月		45期	46期	47期	48期
				2021年10月 ～2022年9月	2022年10月 ～2023年9月	2023年10月 ～2024年9月	2024年10月 ～2025年9月
水使用量の削減	水の効率的 使用 一人当たりの 使用量	33期実績 一人当たり 0.976 m ³ /月	目標	基準値の 5.0%削減 0.927 m ³ /月	基準値の 5.5%削減 0.922 m ³ /月	基準値の 6.0%削減 0.917 m ³ /月	基準値の 6.5%削減 0.912 m ³ /月
			実績	0.739 m ³ /月	0.709 m ³ /月	m ³ /月	m ³ /月
			達成	○	○		
グリーン 購入の 推進	エコ商品 購入率向上 <エコ商品/ 総購入品>	33期実績 エコ商品 購入率 36% <68点/ 187点>	目標	エコ商品 購入率 48.0%	エコ商品 購入率 49.0%	エコ商品 購入率 50.0%	エコ商品 購入率 51.0%
			実績	71.0%	70.2%	%	%
			達成	○	○		
製品環境 配慮の推進	R o H S 指令 対応資材の 使用	有害6物質 無含有材使 用率80% 以上	目標	有害6物質 無含有材使 用率99.9% 以上	有害6物質 無含有材使 用率99.9% 以上	有害6物質 無含有材使 用率99.9% 以上	有害6物質 無含有材使 用率99.9% 以上
			実績	99.2%	99.5%	%	%
			達成	×	×		

4、環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

4-1、環境経営目標：二酸化炭素排出量の削減

I、電力使用効率の向上

- ◇ 活動内容；①製造作業の効率向上 ②エアーの無駄削減 ③照明・エアコン使用の管理
- ◇ 結果・評価；照明器具のLED化と省エネエアコンの買い替えにより改善方向にあります。エアコン買い替えにより目標を達成している。
- ◇ 今後の取組；製造部業務システムの電算化が進みペーパーレス化に向け更なる改善をし、コピー紙と時間の削減・不良の削減を目指し、電力・材料(資源)の無駄排除を目指します。エアコンの買い替えが全て終わっていないので、今後も買い替えを行い目標達成に向け努力します。

II、化石燃料消費量の削減

- ◇ 活動内容；エコドライブの推進（燃費効率の向上）
- ◇ 車の買い替え時、ハイブリッド車の導入を進める。
- ◇ 結果・評価；今期は、走行距離が5%減に比例して燃焼使用量も減少したが、燃費の向上に、つなげる事が出来なかった。
- ◇ 今後の取組；エコカーへの転換を図れるよう継続努力いたします。

エコドライブの意識上昇を積極的にPRしていきたい。

4-2、環境経営目標：廃棄物排出量の削減

I、廃棄物のリサイクル推進及び最終廃棄物削減

◇ 活動内容；分別の徹底

◇ 結果・評価；目標リサイクル率 14.28%に対して 32.4%で目標達成しました。

塩ビの端材がリサイクルできる様になったことによりリサイクル率が向上した。

◇ 今後の取組；47期も引き続き廃棄物の分別を進めますリサイクル出来る物量をさらに増やす努力をいたします。また、先期より塩ビ板のリサイクルの引き取りが出来るようになりリサイクルに貢献していきたいです。

製造部に新システム導入され、作業・材料の効率化が図れるよう努力いたします。

4-3、環境経営目標：水使用量の削減

I、水の効率的使用

◇ 活動内容；節水の徹底

◇ 結果・評価；総使用量が若干減少しましたのでぎりぎり目標を達成しました。

◇ 今後の取組；一人一人の節水意識を持ってもらえるよう協力のPRを継続いたします。

4-4、環境経営目標：グリーン購入の推進

I、エコ商品の購入推進

◇ 活動内容；エコ商品の導入

◇ 結果・評価；今期は購入比率が 70.2%と高くなりました。非エコ商品の購入が減りエコ商品が増えたことで高いパーセントになりました。

◇ 今後の取組；最新の製品情報を入手でき、エコ商品の購入に努めます。

4-5、環境経営目標：製品環境配慮の推進

I、RoHS指令対応資材の使用

◇ 活動内容；RoHS指令含有の商品を非含有商品に変換していく。

◇ 結果・評価；塩ビ製品の主要使用品はほとんど変更が来ていますが、配管関係部品は、鉛フリーが進まない部分があり、先期とあまり変わらないです。

◇ 今後の取組；RoHS指令が年々厳しくなる中、指令の新情報を入手する努力が欠かせず、素早く対応できるよう努力いたします。

配管材は一部でRoHS対応が進まず、指定材料を購入せざる負えない部分があります。

5、環境関連法規への違反、訴訟等の有無

区分	環境関連法規等名称	チェック日	遵守結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	2023. 10. 12	○
資源循環	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	2023. 10. 12	○
	小型家電リサイクル法	2023. 10. 12	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	2023. 10. 12	○
大気汚染	フロン排出抑制法	2023. 10. 12	○
化学物質	改正RoHS指令	2023. 10. 12	○
静岡県生活環境保全 等に関する条例	騒音規制法	2023. 10. 12	○
	振動規制法	2023. 10. 12	○

5-1 環境関連法規への違反

当社に適用される環境関連法規等については、2023年10月13日遵守状況点検の結果、46期は問題ないことを確認しました。

5-2 訴訟等

当社の環境管理に対する利害関係者からの訴訟及び関係当局からの指摘等は過去5年間ありません。

6、代表者による全体評価と見直しの結果

6-1 見直し実施日 2023年10月24日

6-2 RoHS指令対応、化石燃料使用量が未達であった。

RoHS指令対応については、メーカーでの対応がないので現在は未達のままである。また、化石燃料使用量の対応として旧型車を新型車への対応を取り、改善を目指します。（*新型車は全てオートマチックにて、カタログ値がマニュアルに比べると低く目標値の変更が必要となる。）

工場アエコンを新規に変更し節電に努めます。

6-3 見直し結果による変更の必要性

- | | | |
|--------------|--------|----|
| 1) 環境経営方針 | 変更の必要性 | なし |
| 2) 環境経営目標 | 変更の必要性 | なし |
| 3) 環境経営計画 | 変更の必要性 | なし |
| 4) 環境経営システム等 | 変更の必要性 | なし |

以上